

# 寄付月間中の取り組みに関するご報告

## 2016 Giving December

- **知識・技術の寄付**  
(公式認定企画)
- モノの寄付
- 児童養護施設との協働イベント実施
- TFTプログラムの導入  
(One Microsoft Cafe)



# 知識・技術の寄付（公式認定企画）

## Hour of Code 2016 の実施について

Computer Science Weekを挟む12/3-12/22の期間に実施したProgramming for allの取り組みでは、

1. 今回新しく発表されたHour of Code：Minecraft Tutorial（日本語版）を活用し、公教育現場での、社員ボランティアと教員の方々の連携によるプログラミング教育の実証、
2. 政策関係者（Government Elite）との、産官学NPO連携によるプログラミング教育推進についての対話、

の2点にフォーカスをあてました。

その結果、**19拠点**（学校および地域施設）で開催したイベントを通じ、のべ**953名の子供たち**にプログラミング体験を届ける事が出来ました。また、各イベントをサポートしてくれたのべ**96名の社員のボランティアワーク**時間は、合計約**200時間**に達しました。こちらは、公式認定企画において**50万円相当の貢献**となります。

## 学校現場での実証



## 政府・NPO対話



## みんなのコードイベント



## 社員ボランティア



みんなのコードが主催する Hour of Code Japan では、120名の教員に向けてプログラミング教育の紹介を行いました。

## 政府機関からのフィードバック

12/11（日）にSGTで行われたHour of Codeイベントにおいて、Hour of Code: Minecraft Education Editionを体験いただいた文部科学省初等中等局の方からは、

「プログラミング教育の教材として、ロジカル思考の練習教材として、また、紹介されていた算数や社会といった教科の教材としても、より幅が広がっていけばと思います。また、このコンテンツを無償提供している教員の方々の活用事例も今後見てみたいと思いました。障害をもつ子供たちの可能性や興味を引き出すツールの一つとしても、興味深いと感じました」

12/18那須町教育委員会からは、「体験会は大盛況で、町長、地元議員、教育委員会からの関心が高く、教室の外から立ち見があるほどでした」

とメッセージをいただきました。

## 今後について

今回の一連のイベントを皮切りに、今後も、学校や社会教育施設、児童養護施設などへのプログラミング教育提供の試みは、産官学NPOと連携し続けてまいります。

この取り組みに、より多くの社員ボランティアの皆様にも参加いただきたいと思いますと考えております。

# モノの寄付

デスク周りに眠っている品物の提供を社員から募り、それぞれ適切な機関を通して、NPO・NGO団体に寄付しました。

寄付品	寄付先	
書籍・CD・DVD	チャリボン	書籍51冊、CD11枚、DVD2枚を寄付しました。
使われなくなったノベルティ・文具・玩具・デバイス等	児童養護施設など	集められたモノは、ギフトとして児童養護施設の子どもたちや職場見学に訪れる中・高生に提供しました。 

# 児童養護施設との協働イベント

12/10、22の2日間にわたって**児童養護施設**との協働イベントを行いました。

12/10には、社員ボランティアが児童養護施設を訪れ、Hour of Code Minecraftのチュートリアルおよび翌日に控えていたMicrosoft Office資格試験の準備を行いました。

12/22には、児童養護施設の子どもたちを会社にお招きし、プログラミングワークショップや製品体験会、オフィス見学そして軽食をご用意しての交流会を開催しました。

2日間で合計**20人の社員ボランティア**の協力がありました。



# TFTプログラムメニューの導入 (期間限定/社員食堂にて)

12/10-12/22の期間、社員が気軽に寄付について考え行動できる機会として、Table For Twoプログラムメニューを導入しました。

このプログラムメニューでは、1食あたり20円がtable for twoを通じて開発途上国の子どもの学校給食になります。(20円=開発途上国の給食1食分の金額)

9日間で**541食分**、  
10,820円を寄付しました。

